

第 1 回懇話会における意見の概要

【道路ネットワークの重要性】

- ・ 中部縦貫自動車道や国道 8 号など骨格となる道路の整備
- ・ 防災や観光振興のため横につなぐ道づくり
- ・ 駅から幹線道路へのアクセス向上
- ・ 産業道路と生活道路の区分け

【道路保全の重要性】

- ・ 災害に強い道路（救援・支援の確保）
- ・ 予防保全型の老朽化対策
- ・ 新しい道路をつくるだけでなく、今ある道路を維持していくことも大事

【多様性のある道路空間】

- ・ 安心して歩ける道路
- ・ 歩いたり、自転車での移動が楽しめる空間（スローモビリティ、健康づくりの視点）
- ・ 美しさや心地よさ（遠まわりしてでも通りたくなる道路）
- ・ 景観づくり（シンボルとなる道路（田舎でも）、きれいな道路）
- ・ デザイン性を持った道路
- ・ 多目的利用ができるよう柔軟性のある道路整備
- ・ 水辺空間、公共空間、沿道とのつながりを持たせる（地域にあった道づくり）
- ・ まちづくりと一体となって、賑わいを創出
- ・ 公共交通機関と連携した道路整備

【県民とのコミュニケーション】

- ・ 住民と連携した道づくり
- ・ 道路の重要性を（参画意識、維持管理意識を育てるために）県民にわかりやすく説明
- ・ 道路予算が様々なことに使われていることを県民に PR（受益者もコスト意識）

【ビジョンの視点】

- ・ ビジョンは、長期的な視点を持たせる
- ・ 多様化する道路の使い方を考える必要
- ・ 敦賀港もあり、日本の中心となる強い地位を持つ可能性（「福井は日本のへそ」）
- ・ 国内での福井県の位置付けが大きく変わる（中部縦貫の開通によりつながりが深まる）
- ・ 情報化を道づくりに活かす
- ・ SDGs につなげて政策転換